



▲民家に飛び込んだ堤防 (菜生海岸) (提供：高知県)

## 背景

平成16年(2004)10月20日、台風23号の激しい高波により、室戸市の<sup>なまへ</sup>菜生海岸では堤防が約30mにわたって決壊しました。越波等により背後の家屋13戸が被災し、3名の方が亡くなるという惨事になりました。堤防を乗り越えた水塊が背後の家屋等を被災させるとともに、堤防の決壊や流失が被害を拡大しました。この堤防の被災は、これまでの海岸災害では見られないものでした。この話は、異常な高波により被害を受けた町内会長さんの証言です。

## アクセス 菜生海岸

- 室戸市役所より南東へ直線距離約6km
- 室戸市室戸岬町
- 緯度経度 北緯33度16分24秒, 東経134度09分31秒



平成一六年(二〇〇四)の台風二三号の高波は、室戸市の海岸堤防を破壊し、三名の命を奪いました。当時の町内会長さんは以下のように証言しています。

あの日は午後一時頃から電話や電気が通じず、とにかく大変な雨と風でした。でも我々室戸市民は台風慣れていましたから軽く見ていたのです。おそらく皆、無防備だったのではないのでしょうか。ですから、あの広くて大きな堤防が吹っ飛んだのを見た時は「まさかこんなことが」という気持ちでした。私はずっと室戸に住んでいます、あんな光景を見たのは初めてです。

被害のあった家へ救助に行ってみると、堤防の塊が家具もろとも家を押しつぶし、畳が天井に突き刺さっていて、波が山手側の壁までぶち抜いていました。それを見て以来、心構えが変わり、自主防災組織を作るきっかけになりました。

海沿いに住む我々は、自分で自分を守っていくしかありません。台風の怖さを忘れないためにも、高浜地区では一〇月二〇日を地区の防災の日として、防災訓練を実施しようと考えています。

